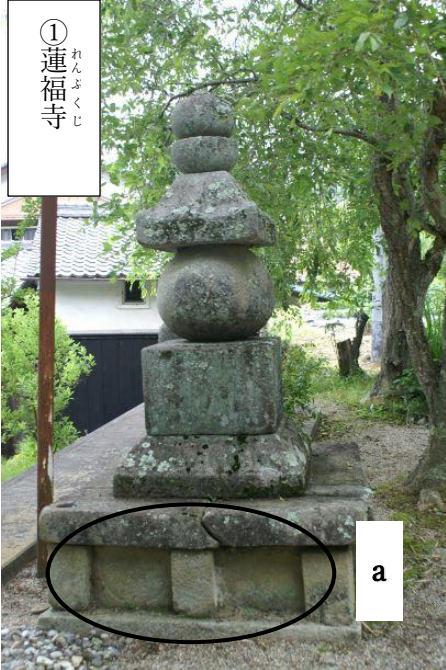


第2回 美旗市民大学紙上講座

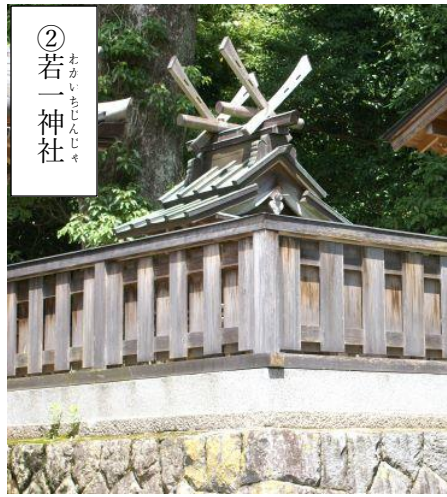


本年度はコロナウイルス感染拡大防止のため美旗市民大学講座を「美旗市民センターだより」の紙面にて、テーマを「美旗まち歩き」として、展開していきます。今月号は**第2回「知られざる南古山」**です。



① 蓮福寺

①蓮福寺 石造五輪塔
この五輪塔は、もとは寺の西方50mの地点にあったものを、現在地に移したと云われています。高さ157cm、**基壇**高は62cmありすべて当初のものです。基壇は、各面の羽目石を二区画に分け、それぞれに**格座間**が刻まれており、市内では唯一の造りです。石質は花崗岩で**反花座**や**火輪**のそり等から無銘ですが、**鎌倉末期の作**と推定されます。本来は、墓地の中心に建てられた全体の供養塔で、石造彫刻やこの地域の葬送儀礼を知るうえで貴重です。



② 若一神社

②若一神社
立派な千木・鯉木のある社の若一神社は、伊賀市の古山の田守神社から分祀された神社です。
今でも、春祭り・小祭り・大祭り(秋)と年に3回のお祭りがあり、お籠りをしています。

用語解説
ちぎ かつおぎ
千木・鯉木：屋根の両端で交差させたのが千木。並行して並べた木材が鯉木
きだん
基壇：墓石を支える石
こうざま
格座間：曲線の枠
はんかぎ
反花座：下側へ反転するように
開いた蓮の花の座*写真a
かりん
火輪：三角形の屋根の様な部分



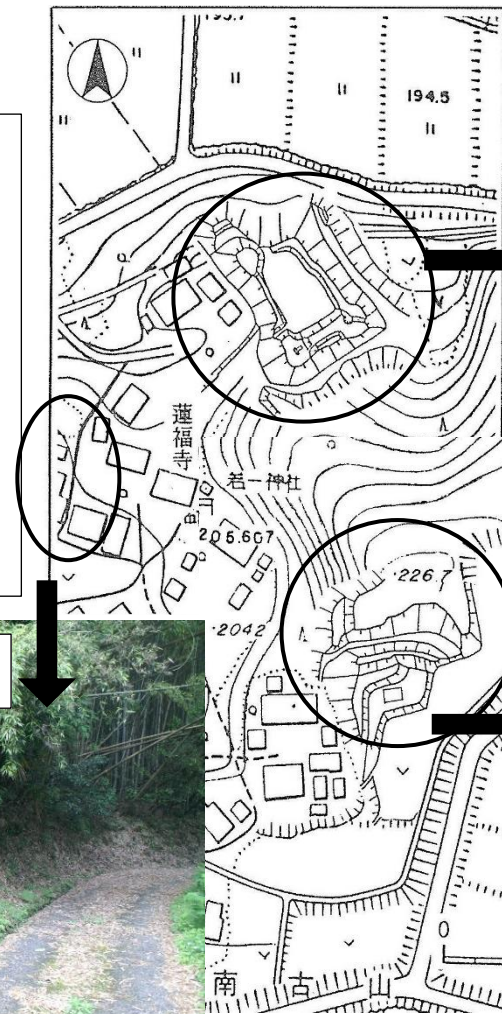
③ 常夜燈

地元の人の話より
③常夜燈
昔から、村人が順番に火を灯し、年に一度は京都の愛宕神社にお参りをし、火事が起こらないように祈願していたそうです。
また、前の山には祠(ほこら)があり「**経塚**」きょうづかと呼んで、雨乞いの神様として拝んでいたそうです。



⑥ 松岡氏城堀切跡

南古山に中世城館があったのをご存じでしょうか。時代は**室町時代**です。
④高田氏城 地元の人から「**城山**」(しろやま)と呼ばれている高田氏城跡は、四方を土塁とした、やや小型の主郭がある。城の西下の子孫宅を普段の住居としていたと思われる。今でも子孫の高田さん宅では、先祖供養の法事を続けておられるそうです。
⑤御城山城(ごじょうやまじょう) 高田氏城の南背後の丘陵端に北西背後の土塁と堀切が残る。
⑥松岡氏城 蓮福寺の西方、宅地となった台地に土塁の痕跡と考えられる土盛と**堀切跡**と思われる遺構が残る。



④ 高田氏城跡(城山)



⑤ 御城山城跡

来月号は、水をテーマに第3回「新田水路を辿る」です。